

軟 X 線 XAFS ラウンドロビン実験による SAGA-LS BL10 と BL12 の比較

吉村大介、小林英一、岡島敏浩

九州シンクロトロン光研究センター ビームライングループ

ラウンドロビン実験は、国内のシンクロトロン光施設やレーザー施設が連携して共用を促進することを目的とする光ビームプラットフォーム事業(詳細は、<http://photonbeam.jp/>を参照)の一環として行われている。同一の測定手法を持つ各施設において、同一の試料を持ち回り、測定条件もなるべく揃えて実験を行うことにより、各施設での状況や特徴などの情報を施設間で共有することを目的としている。

本発表では、“軟 X 線 XAFS”ラウンドロビン実験の一環として九州シンクロトロン光研究センターの 2 本の軟 X 線ビームライン(BL10 及び BL12)で実施した結果を報告する。偏向電磁石を光源とする BL12 に対し、BL10 は可変偏光アンジュレータを光源とするビームラインであり、これら光源の特徴を踏まえながらそれぞれのビームラインで得られるスペクトルの比較を行う。他施設での結果についても将来的に同事業の HP 等での公開が予定されている。
